

17. 草木染めに挑戦！

○ねらい：道ばたのタンポポやセイタカアワダチソウ、ツククサや森の樹木の皮や葉、また冷蔵庫の中の野菜や果物にも草木染めの染料に利用できるものがあります。このように意外に身近な植物で草木染めを楽しむことができます。これら自然の恵みで染めあげた布は、華やかさこそありませんが素朴でやさしい色合いが特徴です。さあ！いろいろな材料が、どんな色に染めてくれるか試してみましょう。

●対象地：樹林地・学校・河原・庭・公園・道ばたなど

●身近な草花



タンポポ

●野菜や果物



ニンジン

染料になる植物



ホウセンカ



セイタカアワダチソウ



ツククサ



タマネギ (皮)



パセリ



ブドウ

●樹木の葉や皮



①模様づくり



②染め液を作る



③染める



④媒染※



⑤水洗い・乾燥



染めの手順

①小石などを染めたい布に包んで、輪ゴムでしっかりと巻きつけておきます。いろいろな絞り方を工夫してみるとできあがりの模様が楽しみです。

②集めた材料を鍋に入れて、水を加え火にかけます。煮立ったら煮汁をザルでこしながら、別の鍋にあげ、これを繰り返します。初めの煮汁、2番汁、3番汁をいっしょにして染め液のできあがりです。

③染め液に染めたい布を入れます。ゆっくりかき混ぜながら30分くらい火にかけます。染める布はよく水洗いして、ぬらしておきます。綿や絹100%の布や毛糸がきれいに染まります。

④媒染剤(ミョウバンなど)をぬるま湯に溶かした液(約3%)に、染め液から取り出した布をよく浸します。

⑤よく水洗いした後に、輪ゴムをはずして乾燥させればできあがりです。

※媒染とは？

布に草木の染料がしっかりと入りやすくするための作業です。媒染剤にはいろいろなものがあり、それぞれ仕上がり色も変わってきます。

(例1) セイタカアワダチソウの場合

ミョウバン→黄土色 鉄→渋い緑色 銅→オリーブ色

(例2) タンポポの場合

ミョウバン→黄色 クロム→オレンジ色

(例3) パセリの場合

ミョウバン→ベージュ 鉄→ミルクココア色

銅→黄緑 クロム→レモンイエロー